

## 銅賞（神戸海事広報協会会長賞） 6点

### 「わたしたちの大切な江井島の海」

明石市立 江井島小学校 3年 西田 悠那

わたしは、毎年夏休みに家族や、おじいちゃんの友だちをよんで、バーベキューをします。わたしは、海がすきなのでバーベキューの日を楽しみにしています。海がすきなわけは、プールは海よりも小さくて、プールには、生きものがないからです。だから海がすきです。

漁協さんのお話では、なぜ明石のタコがおいしいの。というしつ間で、明石の海のしおの流れは、はやいので、タコがふんばって、足がふとくなるため、はごたえがあっておいしいそうです。

学校では、江井島の海たんけんに行きました。海たんけんでは、カニやクラゲ、小さな魚もいました。これからもたくさん生きものたちに楽しく、くらししてほしいです。

ほしダコ作りでは、漁協さんたちのおかげで、いきのいいタコをいただきました。タコのぬめりをとるときは、きゅうばんが手について大へんでした。タコのぬめりがとれて、足を切りました。足を切っても動いていたのでびっくりしました。タコが水にあがってから何時間もたっていたのですごいと思いました。ほして、家にもってかえりました。家でもう少しほしてから、しょうゆと、マヨネーズをつけて食べました。はじめて食べたし、自分たちで作ったのでとってもおいしかったです。学校では、タコめしを作って食べました。タコめしもはじめて食べたけどおいしかったです。

こうべこうのふね「オーシャンプリンス号」に乗ったときは、ひさしぶりにふねに乗ったので、とっても楽しかったです。いままで、あんなにごうかなふねに乗ったことがなかったので、友だちと楽しんでいました。また、「オーシャンプリンス号」にのりたいたいと思いました。

海岸せいそうでは、江井島の海と子どもを守る会の人たちと、江井島の海岸のゴミひろいをいっしょにしました。海に落ちていたゴミは、ロープやふくろ、ボールに小さい子の遊ぶおもちゃや、くつも落ちていました。じじ会館では、かみしばい

を読んでもらいました。うみガメがふくろをえさとまちがえてふくろを食べてしまい命にかかわる大へんなことでしたがお医者さんに助けてもらうお話です。この話を読んでもらって海にゴミをすてている人をみたら注意したいし、見本になりたいと思いました。

海をきれいにしたら気持ちもいいし、海の魚もよろこぶから海をきれいにしたいです。わたしたちは、これからもこの江井島の海を大切にしたいです。

## 「海岸せいそうをしたよ！」

明石市立 江井島小学校 3年 古谷 優空

わたしたちは、10月23日（木）に海岸せいそうに行きました。いつもあそぶ時は気にしていないけど江井島の海は、海岸がけっこうよごれていました。ゴミは、マヨネーズの入れ物や、ソーセージのふくろなどがおちていました。あとクルミやゴミふくろ、タバコなどがおちていました。

そんな海岸を三年生全員でそうじすると、もえるゴミ60kg、もえないゴミ10kgもありました。海岸は、実は、とてもよごれていたのです。わたしたち三年生全員だけではなく、江井島の海と子どもを守る会の人たちもてつだっていただき、海岸をそうじしました。自治会館で江井島の海と子どもを守る会の代表の安田さんに話をさせていただきました。安田さんは、はじめにした人のマネをして、ゴミを海岸にすてると言っていました。

だからわたしは、初めにすてた人が悪いと思います。江井島の海と子どもを守る会の人たちは、月1回そうじしているそうです。それを聞いて、もしかすると、わたしもすてていたかもしれないと思いました。なので海岸を通る時にゴミを見かけて、いそいでいなければひろいたいほど海岸はみんなが使うところだし、目だつ所にあるから、きれいにしたいです。

安田さんは、自治会館でウミガメの話もしてくれました。ウミガメは、昔、何しゆるいもいたそうです。その中で赤ウミガメ、青ウミガメ、黒ウミガメというウミガメをおぼえてきました。そして、「ウミガメマリンの大ぼうけん」という紙しばいを聞かしてもらいました。あらすじは、マリンと言うウミガメがある日、おなかですいて、クラゲだと思い、ゴミぶくろをたべてしまいます。でもそれを見つけた人がびょういんにはんそうして、くれたので、マリンは助かりました。

もし、その人がいなかったらマリンは死んでしまっていたと思います。マリンは、海がにごっている水だったので、マリンはゴミぶくろを食べてしまったんだと思いました。

その時の海はとても、よごれていたそうです。でもその事があってから、ゴミをその海にすてる人は、すくなくなったそうなので、江井島の海にもゴミをすてる人がすくなくなっしてほしいです。

わたしは海岸せいそうをして海の気持ちがあつたような気がします。これからは、ゴミをすてる人がいたらみんな、注意して、おたがい助けあいたいです。

## 「わたしの家族は海が大好き」

高砂市立 米田小学校 5年 鎌田 佳歩

わたしの家族は夏になると毎年海に行きます。お父さんと、お母さんと、お姉ちゃんと、弟と、わたしと。

わたしは、沖縄で生まれ、小さいころは沖縄に住んでいました。沖縄は夏が長くとても暑かったです。だからわたしはたくさん海に入りました。兵庫県に引っこして来てからは、海に入ることが少なくなりました。

私の家族はみんな海が大好きです。だから夏になると、かならず海に行きます。

わたしは、兵庫県に引っこして来て六年になります。

今年は、京都の丹後半島にキャンプに行きました。海にはたくさん生きものが出て、わたし達は、夢中になってあみで魚をつかまえました。お父さんは、釣りに熱中していました。お母さんは、浮き輪でプカプカとして泳いでいました。

夜は、海でバーベキューをしました。海で食べるお肉や野菜はとてもおいしかったです。食べ終わると、たき火をして、花火をして、星も見ました。天の川が見えてきれいでした。海のそばにテントを張っていたので、そこでねました。

朝は、波の音で目が覚めました。わたしが起きると、お母さんはもう起きていて、ご飯のじゅんぴをしていました。そしてわたしもお母さんの手伝いをしました。ご飯のじゅんぴができるとみんなが起きてきました。いつも朝ご飯は別々で食べるけど、海に来るとみんなそろって食べるので楽しかったです。

その後、海で遊んですいかわりをしました。毎年お姉ちゃんがすいかをわってくやしい思いをしていたけど、今年はわたしがすいかをわれたのでとてもうれしかったです。そのすいかは、甘くておいしかったです。

キャンプに行った事は、この夏の一番の思い出です。

わたしの家族は、海が大好きです。だって海に行くと楽しい事がたくさんあるし、家族みんなですごせるからです。これからもたくさん海に行きたいです。もちろん家族みんなで。

## 「夏休みマリンキャンプに参加して」

高砂市立 米田小学校 5年 井上 翔太

ぼくは、夏休みの期間中に、若狭マリンキャンプに、行きました。着いてからすぐに、水泳をして、いかだの上から飛びこんで、海の中を見たら、ヒトデ、ウニ、魚、クラゲをたくさん見つけました。

夜は、ナイトハイクで、波の音がよく聞こえました。そのうえ、昼とちがいは、シーンと、しずまり潮のかおりがしました。

二日目は、いかだ作りで、いかだを作って、レースをしたら、右に行ったり、左に行ったりで、最下位だと、決まったから、海の中をのぞき込んでいたら、オールのはしが自分の背中にあたり落ちてしまいました。

それからまた、いかだに乗り、海の中をまたのぞき込んだら40cmほどの魚を見つけました。砂浜についたら、すぐにいそ観察をしたら、魚、カニ、ヤドカリ、まき貝を捕まえ、生きものを観察し、海へ返した。

夜は、野外炊飯でカレーを作り、海を見ながら食べたらいつもより、ご飯がおいしかった。星座観察の時には、くもっていたから、一日目のナイトハイクと同じように波の音と潮のかおりを楽しんだ。

三日目は、大だらい、カヌー、グラスボートに乗った。まず乗り方の説明をしてくれる、しせつの方が人間はまず泳いで陸から陸までわたった。次は木でいかだを作り海をわたった。最後は船を作って海をわたった。一日目、二日目。三日目と体験しているんやでと言っていた。

それから、説明がおわると三人乗りのカヌーの一番後ろだったから、心配された。そのうえ立ち上がるやつや体重を右や左にかけるやつがいたからカヌーがひっくり返ってしまった。カヌーが終わると大だらいに乗り、大だらいはなかなかこげなくてくるくる回り目が回ってしまった。大だらいが終わるとグラスボートに乗ったら、グラスの中に水がはいってきたから、しせつの方が岸まで連れて行ってくれた。

夜はキャンプファイヤーを砂はまでしどのプログラムが楽しかったかとけんかになり最後は仲直りして終わった。

それから最後に、リーダーどのプログラムが楽しかったかと聞かれたから全部と答えた。その理由は、仲間と出来た体験は全部楽しいと思ったから。

## 「スノーケル体験」

姫路市立 八幡小学校 5年 先灘 翔大

ぼくは、この夏休みに、竹野海岸にあるスノーケルセンターへ行きました。そこで、スノーケル教室に、お父さんと参加しました。

砂はまから見た海は、今までぼくが行った海の中で一番きれいでした。

ぼくとお父さんに教えてくれた指どう員さんは、

「ぼくは、先生とよばれるのはきれいなので、おっちゃんと言いでね。」

と言われました。

まずはじめに、スーツを着ました。ぼくはがんばっても、なかなかスーツが着れませんでした。そしたら、おっちゃんが

「ひみつへいきを入れるよ。」

と言って、ぼくが着ているスーツに水を入れてくれました。すると、スポッと手と足が入って着れました。そして、スノーケルと水中メガネをつけました。最後にフィンという足ひれをつけました。

「フィンをつけると上手に泳げるようになるからね。」

と言われました。でも、ぼくは本当にフィンをつけるだけで上手に泳げるようになるのかなあと思いました。

いよいよ海に入ります。でも、フィンをつけているので、とても歩きにくくて、こけそうになりました。海に入ると、スーツを着ているので何もしなくてもうきましました。

はじめて見た海の中は、水族館のようでとても感動しました。浅い所にはナマコ、ウニ、ウミウシがいました。深い所には、サザエ、クロダイなど小魚がいっぱいいました。おっちゃんがタコを見つけてくれました。一番先に泳いでいたぼくだけが、そのタコを見ることができました。とてもラッキーでした。

むちゅうで海の中を見ていると、いつの間にか、ぼくの足のフィンが取れてしまっていました。おっちゃんに言うと

「おっちゃんがさがすわな。」と

やさしく言ってくれました。どうしようと不安に思っていると、おっちゃんはすぐにフィンを見つけてくれました。やさしいおっちゃんのおかげで、楽しく魚を見る

ことができました。ぼくは、小さい時から海が大好きなので、スノーケルはとても楽しかったです。きれいな海にとってもきれいな魚がいたので、ぼくはとても感動しました。

ぼくとお父さんがスノーケル体験をしていた間、お母さんと妹は、海で遊んで待っていてくれました。次は、家族みんなでスノーケルをしたいなあと思いました。

## 「神戸の海」

尼崎市立 明城小学校 4年 大濱 鴻太郎

神戸の海を船で乗って見ました。せんすいかんやアンパンマンミュージアムがあることは、初めて知りました。神戸ポートタワーもあってよかったです。大きなかんらんしゃもありました。初めてしたことがいっぱいあって楽しかったです。おくの方へ行くとつりをしている人もいてほかの船、フェリーもはしっていました。

船の中は3かいだてでいいけしきも見れるさいこうの船と思っています。船の3かいに上がっていたら風がきもちよかったです。もう一回乗ってみたいです。そして船の中に室内があったので入ったら、いすがあって、そこにすわっていてきもちよかったです。

いっぱい船に乗って神戸の海をぐるっと一周して見れてよかったです。

神戸海洋博物館は、2つのしゅるいに分かれていました。1つ目は、昔について、2つめは、カワサキワールドです。

まずさいしょにカワサキワールドに行って水上ゲームやクイズをしました。クイズは、一回100点のときがあってうれしかったです。水上ゲームは、むずかしかったです。

電車の運転席に行ったりきゅうじょへりに乗ったりして楽しかったです。

昔の所へ行くと昔つかっていたお金、たいほう昔の町なみをイメージした物がたくさんありました。えいが見て楽しかったです。もっといたかったです。すごく楽しかったです。

カワサキワールドは、バイクもいっぱいあって50しゅるいぐらいありました。その中で3しゅるいぐらい乗れるバイクがありました。

昔の所は、昔の人がとりくんだこととかがいっぱいせつめいをしていてよかったです。

思い出にのこったのは、海をみているとき魚がたまたまむれでおよいでいるのを見て川にも魚がいると思いました。

もう一回行ってえいが見たいまで見たかったです。もっと行って新しいことをはっけんしてべんきょうにいかしたいです。